

交通のご案内

○ JR水戸駅から(茨城交通バス)

水戸駅北口バスターミナル7番のりば
栄町経由 茨大または渡里行き乗車
袴塚二丁目下車 徒歩3分

○ JR赤塚駅から(茨城交通バス)

曙町経由 茨大行き乗車
附属中前下車 徒歩1分

○ 自家用車をご利用の場合

常磐自動車道水戸インターより車で15分
那珂インターより車で10分
水戸北スマートインターより車で5分

※ 一般参加の方の駐車場は茨城大学本部キャンパスになります。
茨城大学から本校まで徒歩で10分程度かかりますので、余裕をもってお越しください。なお、スペースに限りがありますので、自家用車でのご来校はなるべくご遠慮ください。



参加費

2,000円(資料代を含む)

※ 学生は無料(ただし資料が必要な時は1,000円)

申込方法

別紙の「公開授業研究会参加申込書」にご記入の上、郵送またはFAXでお申し込みください。もしくは、本校Webページの[研究]より、Eメールにてお申し込みください。

※ 当日の参加申込みも受け付けます。

【申込先】

〒310-0056 茨城県水戸市文京1-3-32

茨城大学教育学部附属中学校 TEL 029-221-5802 FAX 029-221-3387

WebページURL: <http://www.jsch.ibaraki.ac.jp/> E-mail: jhs@ml.ibaraki.ac.jp

昼食

当日、昼食用お弁当の注文をお受けします。

● 料金は700円です。(飲み物代を含みます)

● 8:45~9:15に、昼食申込用受付にて代金を添えてお申し込みください。

引換券をお渡しますので、お弁当は昼食時にお受け取りください。

※ 本校周辺には、食堂・レストラン・コンビニエンスストア等が少ないのでご注意ください。

茨城大学教育学部附属中学校

平成29年度 公開授業研究会のご案内

21世紀を生きるための「教養」を高める学びの創造(4年次)



平成29年
11月23日[木]

勤労感謝の日

9:15~16:30
(受付は8:45~)

今、世界は多様化し、さまざまな文化や国の人々が流れ込んで出ていくという、流動性の高い時代を迎えています。ものや人の交流が多岐にわたる中で、多様性を認めつつも自分を見失わないことが、これからの時代を生きる子どもたちに必要とされています。それは、自分の中に軸となるものをつくり、自己を確立していくことでもあります。

本校では、自己を確立するための基軸となるものを「21世紀を生きるための『教養』」と捉えて研究に取り組み、今年で4年目を迎えました。「問い、考え、表現する」ことを重視し、主体的な対話を通して多様な視点をもつことにより「21世紀を生きるための『教養』」を高める学びの創造を目指してきました。

お忙しい時期とは存じますが、是非ご来校いただき、本校の実践研究に忌憚のないご意見、ご助言を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年10月

茨城大学教育学部附属中学校長 榎 守

8:45	9:15	10:00	10:15	11:05	11:20	12:10	13:10	14:40	14:55	16:30
受付	全体会	移動	公開授業①	移動	公開授業②	昼食・休憩	分科会	移動	講演会	

演題:「新学習指導要領の趣旨と授業づくり」

講師:安彦 忠彦氏(神奈川大学特別招聘教授・名古屋大学名誉教授)

講師紹介:1942年東京都生まれ。東京大学教育学部卒業。2012年4月より現職。博士(教育学)。専攻はカリキュラム学、教育方法、教育評価。第3~6期中央教育審議会委員。

主な著書:『カリキュラム開発で進める学校改革(21世紀型授業づくり)』(明治図書 2003年)

『教育課程編成論 学校は何を学ぶところか』(放送大学教育振興会 2006年)

『公立学校はどう変わるのか』(教育出版 2011年)

『「コンピテンシー・ベース」を超える授業づくり 一人格形成を見すえた能力育成をめざして』(図書文化 2014年) 他多数

公開授業① [国語, 社会, 理科, 美術, 保健体育, 技術分野, 外国語(英語), 道徳, 特別活動]

公開授業② [国語, 数学, 音楽, 保健体育, 家庭分野, 外国語(英語), 道徳, 総合的な学習の時間]

後援:茨城県教育委員会/茨城県教育研究会

公開授業① 10時15分～11時05分

教科領域	授業者 公開学級	「単元・題材名」 授業説明	助言者 共同研究者
国語	開田 晃央 1年1組	「言葉のゆれを考える」 「言葉」に対する筆者の主張を、図表と説明との関係から捉えます。言葉遣いに着目し、説得力のある理由や納得できる原因を考え、「言葉」について自分の考えを伝え合う授業を提案します。	茨城県教育庁学校教育部 義務教育課 大越 茂 先生 茨城大学教育学部 鈴木 一史 先生
道徳 ※1	根本 麻理 1年2組	「ネット将棋」A1 自主・自律、自由と責任 「ネット将棋」という資料を通して、責任とは何かについて考えます。責任をもつとはどういうことか、責任感のある人とはどんな人なのか、などの問いから自己を見つめる授業を目指します。	茨城県教育庁学校教育部 義務教育課 川野 康子 先生 茨城大学教育学部 生越 達 先生
社会	奥谷 大樹 1年3組	「ひらがなの歴史的意義の考察」 漢字が伝来する中で生み出された日本独自の文字、ひらがな。ひらがなはなぜ必要とされ、社会にどのような影響を与えたのか。資料を読み解き、対話を通してひらがなの歴史的意義について考察する授業を提案します。	茨城県教育庁学校教育部 義務教育課 川中 俊治 先生 茨城大学教育学部 村山 朝子 先生 木村 勝彦 先生
保健体育 (保健分野)	竹内 道子 1年4組	「欲求やストレスへの対処と心の健康」 思春期の中学生が抱える問題のひとつであるストレスへの知識と対処の仕方をケーススタディを通して考え、適切に実践できるようになることを目指します。	茨城県教育庁学校教育部 保健体育課 塚田 勝之 先生 茨城大学教育学部 日下 裕弘 先生
外国語 (英語)	田尻新之介 2年1組	「Welcome to Ibaraki ～町紹介をしよう～」 外国人から魅力的な国だと思われる日本。その中で魅力度最下位の茨城県をアピールする発表と、そこから生まれた問いを表現し、やり取りできる生徒の育成を目指します。	茨城県教育庁学校教育部 義務教育課 永尾 剛 先生 茨城大学教育学部 猪井 新一 先生
特別活動 ※1 (ERD活動) ※2	中村麻里那 2年2組	「Let's インタビュー！」 インタビュー活動を基盤に、相互理解を目的としたERD活動を行います。「自己開示と他者理解」「自分や他者の存在を大切にすること」「人間関係の広がりや深まり」が見える授業を提案します。	茨城県教育庁学校教育部 義務教育課 多賀谷 重豊 先生 茨城大学教育学部 杉本 憲子 先生
美術	水野 涼子 3年1組	「アートで社会問題を伝えよう！」 社会問題をテーマとした作品を制作します。対話を通して、一人一人が主題に対する考えを深めていけるようにします。また、発想が形へと変わるプロセスを大切にすることで、表現力の向上を目指します。	茨城県教育庁学校教育部 義務教育課 森江 邦和 先生 茨城大学教育学部 向野 康江 先生
技術・家庭 (技術分野)	滝本 稔治 3年2組	「計測・制御のプログラミングによる問題解決」 計測・制御用教材を用いて社会における問題を発見し、課題を設定する授業を提案します。技術の見方・考え方を働かせて問題を捉え、複数の側面からよりよい解決策を探究する姿を目指します。	茨城県教育庁学校教育部 義務教育課 根本 英生 先生 茨城大学教育学部 大西 有 先生
理科	久保 鉄平 3年3組	「化学変化とイオン」 電池のしくみを追究する授業を行います。現象を説明するために、根拠を得るための実験を行い、結果を分析、解釈しモデルを使った表現をすることで「問い、考え、表現する」生徒を育成します。	茨城県教育庁学校教育部 義務教育課 廣木 一博 先生 茨城大学教育学部 郡司 晴元 先生

※1 道徳及び特別活動の分科会はありません。

※2 ERD活動は本校が独自に開発した構成的グループエンカウンターの手法を人間関係づくりに応用した活動です。

公開授業② 11時20分～12時10分

教科領域	授業者 公開学級	「単元・題材名」 授業説明	助言者 共同研究者
音楽	井上 寛士 1年1組	「『ひまわりクエスト』のBGMをつくろう」 「ひまわりクエスト」という架空のテレビゲームのBGMをつくります。フリーソフトを用い、反復、変化、対照などの構成を工夫しながら音楽をつくっていく授業を提案します。	茨城県教育庁学校教育部 義務教育課 川野 康子 先生 茨城大学教育学部 藤田 文子 先生
保健体育 (体育分野)	木谷 晋平 2年1組	「昔遊び『ろくむし』をスポーツに！」 昔遊び「ろくむし」を誰もが楽しめるスポーツへと創り上げる活動を通して、豊かなスポーツライフの基礎となる力を養います。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善モデルを提案します。	茨城県教育庁学校教育部 保健体育課 塚田 勝之 先生 茨城大学教育学部 日下 裕弘 先生
技術・家庭 (家庭分野)	高崎 昌己 2年3組	「衣服の手入れ」 洗濯の要点と方法についての理解を深める授業を提案します。実験や調査から得られた様々な情報を交換し合い、生活の場面で生かすことのできる知識に高めていくことを目指します。	茨城県教育庁学校教育部 義務教育課 庄司 真樹子 先生 茨城大学教育学部 木村 美智子 先生
道徳 ※3	船山 知暁 2年4組	「一冊のノート」D14 家族愛、家庭生活の充実 資料を通して、家族の一員としての役割とは何かについて考えます。生徒とともにつくる発問をもとに対話する活動を通して、家族と自分との関わりを見つめ直していく授業を提案します。	茨城県教育庁学校教育部 義務教育課 川野 康子 先生 茨城大学教育学部 生越 達 先生
国語	安 暁彦 3年1組	「歴史とは何か 過去とは何か」 「歴史は失われた過去か」を導入課題とし、水戸弘道館、偕楽園等に建立された碑文および常陸風土記を学習材として活用します。先哲の思いに触れ、改めて言葉を捉え直す授業を提案します。	茨城県教育庁学校教育部 義務教育課 大越 茂 先生 茨城大学教育学部 鈴木 一史 先生
外国語 (英語)	小松崎美重 3年2組	「Chapter 4 Project 自分の意見を言おう」 4技能（聞く・話す・読む・書く）を統合した学習活動と、3人組のインタラクティブな活動を積極的に取り入れ、即興的な話題についても自分の意見や考えを発信できる力の育成を目指します。	茨城県教育庁学校教育部 義務教育課 永尾 剛 先生 茨城大学教育学部 猪井 新一 先生
数学	菊池 康浩 3年4組	「データの活用（課題学習）」 データの散らばりの指標である四分位範囲や箱ひげ図を用いて、データの傾向を読み取り、批判的に考察する授業を提案します。データを多面的に考察し、問題場面について判断できる姿を目指します。	茨城県教育庁学校教育部 義務教育課 小林 栄司 先生 茨城大学教育学部 小口 祐一 先生
総合的な 学習の時間 (グローバル市民科) ※3	小林 伸彦 抽出生徒	「しあわせ社会の実現 ～決めること～」 6人組で構成する縦割り小集団を母体とし、全校生徒479名で協同的な学び合いを展開してきました。本時では、抽出生徒グループによる話し合い活動を行います。主権者教育の一貫として、社会参加の態度の育成と政治的リテラシーの涵養を目指します。	茨城県教育庁学校教育部 義務教育課 森江 邦和 先生 茨城大学教育学部 打越 正貴 先生

※3 道徳及び総合的な学習の時間の分科会はありません。